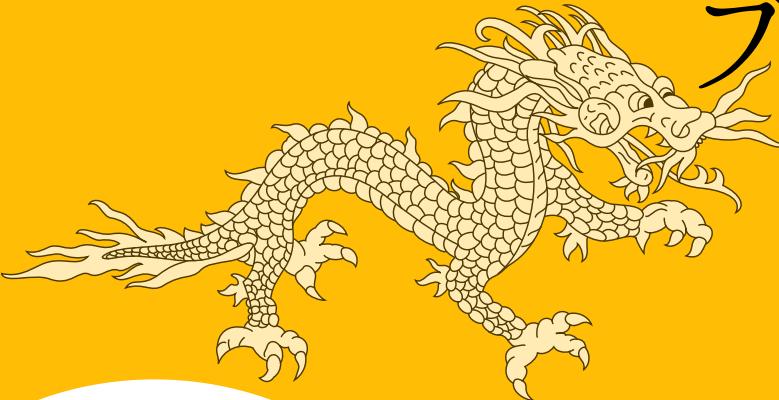


ブータン便り

vol.14



ブータンでは今がきのこのハイシーズン。
松茸は2500円/Kgで入手することができます。

■マッシュルームイベントに参加

きのこが特産品であるBumthang県でマッシュルームイベントが開催されました。

農業・保健・観光・障害児者支援の隊員たちと参画しました。

首都からバスで片道8.5時間、フェスティバル会場のUra村は更に1.5時間。お尻が痛かった！



1日目 シンポジウム

発表の場を頂いたので、店頭での販売促進ツール（POP）の提案を行いました。
日本でお店に行けば必ず見るPOPですが、ブータンではあまり活用されていません。
「野菜市場で商品の違いが分からなくて困った」という導入から
POPを有効活用すれば、更に商品の魅力を伝えられるのでは？という発表でした。

農業大臣とお話しさせて頂いたり、参加者同士のコラボセッションが行われたりと
新しい繋がりが増える有意義なシンポジウムでした！



2-3日目 フェスティバル

私はスムージーとヒラタケのスープの試食ブースを担当しました。
スムージーはビタミン・鉄分の摂取が目的、
ヒラタケスープはきのこのうまみを生かした減塩を目的に試食を展開しました。
今回協力隊のチームでSNSを用いたオンラインコミュニティも作成したため
そのコミュニティへ、現地で出会った人達を誘導する試みも実施。

健康、食生活、日本など、様々な切り口から興味を持ってくれる方と出会えて
点と点が繋がっていく実感がありました！



シンポジウムでの記念写真



フェスティバルの農業ブース



Ura村の景色



出張中の 写真

ブータンのこれが知りたい！

皆さんが気になるトピックをぜひ教えてください！☞<https://forms.gle/aibe16Qnfy8Mp9NZ8>

■お酒の健康被害？



飲み会にずらりと並ぶ、ブータン産のビール

友人の家族・親戚等、何かと訃報を耳にするので日本よりも死を身近に感じることが多いです。2023年にはアルコール性肝疾患や脳血管疾患が上位を占めていたとのこと。（bhutantimes記事より）

アルコールや薬物中毒者のリハビリ施設もあり配属先でその施設による講義が行われた事もあるなど、アルコールを起因とした健康被害は身近な問題です。

ちなみに…

酒類はブータン国内に製造工場がある数少ない産業です。

ウイスキーやビールなど、多くのブランドが流通しています。（ビールだけでも5ブランド以上）また、地方では「アラ」という焼酎に似た蒸留酒が有名で、個人宅で手作りし、客人に振舞われます。輸入品が多いブータンで、酒類は比較的安価で入手出来てしまう事もひとつの要因なのかも？とよく協力隊員同士で話しています。

■県民性の違い？

日本でもよく話題に上がる県民性ですが、ブータンにも出身県による特徴があります。

西部のハ県は口調が荒い、パロ県は竹を割ったような性格で喧嘩早い、

東部は西部に比べると穏やかな性格ではあるものの、

ペマガツェル県は本音と建て前文化が強い、などと表現されることが多いです。

昨年稻刈りの時期に農業機械の需要が殺到し、配属先の機械を潤沢に供給できない事がありました。

その際、パロ県の農家たちが配属先に押し寄せ

「いつになったら、うちの順番が回って来るんだ」と毎朝抗議をしている様子を見かけました。

「パロの農家は主張が強くて、対応が大変だよ…」と配属先のスタッフたちがこぼしているのを見て県民性ってあるんだな～と印象的でした。



花里さくら

長野県佐久市出身

2022年11月から青年海外協力隊としてブータンに派遣中